

小田原城址公園の概要

Odawara Castle Park

小田原城は、15世紀中頃に大森氏が築いた城を前身とし、北条早雲(伊勢宗瑞)に始まる小田原北条氏の本拠となって以降、関東支配の拠点として整備されました。そして、豊臣秀吉との小田原合戦を前に周囲9kmにおよぶ総構を構築し、日本最大級の城郭となりました。

北条氏滅亡後には、徳川家康の家臣である大久保氏が城主となります。小田原城は、北条氏時代の姿を継承しつつも、改修されながら用いられていますが、大久保氏の改易により破却されることとなりました。その後、稲葉氏が城主となりますが、寛永10年(1633)の地震により、城と城下は壊滅的な被害をうけます。そのため、稲葉氏は小田原城を大規模に改修し、小田原城は現在見られるような近世城郭としての姿に生まれ変わりました。

明治維新を迎えると、明治3年(1870)に小田原城は廃城となり、建物は解体・売却されます。城趾は陸軍省の管轄を経て御用邸として用いられることとなりますが、大正12年(1923)関東大震災を期に神奈川県・小田原町(小田原市)へと払い下げられることとなります。

現在、小田原城の本丸・二の丸一帯に相当する城址公園は国指定史跡・都市公園に指定されており、往時の姿を取り戻すよう、史跡整備が進められています。

天守展望デッキの眺め



■ 有料施設紹介

天守閣 (9時~17時 ※時期により延長あり 休館日:12月第2水曜日、12月31日、1月1日)



昭和35年に復興。平成28年5月に平成の大改修を終え、最上階には摩利支天像安置空間が146年ぶりに甦りました。

常盤木門 SAMURAI館 (9時~17時 休館日:12月31日、1月1日)



武士の精神性や武具の美術性をテーマに、本物の甲冑や兜の展示をしています。プロジェクションマッピング「花伐つ鎧」も必見。

小田原城NINJA館(歴史見聞館) (9時~17時 休館日:12月31日、1月1日)



平成31年4月にリニューアルオープン!小田原北条氏に仕えた忍者「風魔」にスポットを当てた体感型の展示施設です。

■ 入館料

	個人		団体(30名以上)	
	一般	小・中学生	一般	小・中学生
天守閣	510円	200円	410円	160円
常盤木門SAMURAI館	200円	60円	160円	40円
天守閣・SAMURAI館 2館共通券	610円	220円	500円	180円
小田原城NINJA館	310円	100円	250円	80円



小田原城址公園

Odawara Castle Park



